

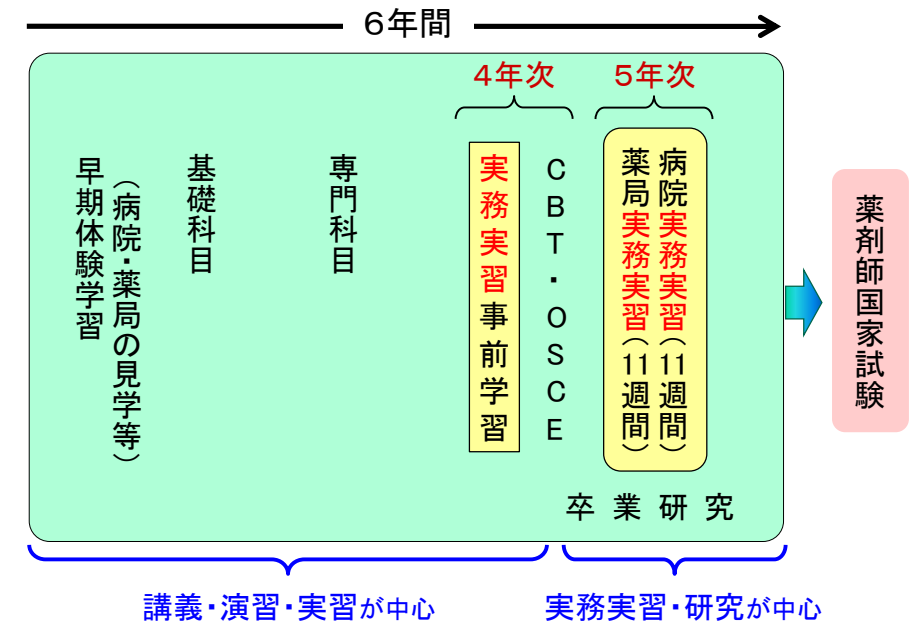
2025年度 実務実習に関する説明会

実務実習事前学習について

2025年1月13日
大柳賀津夫

1

本学薬学部における教育の流れ



2

本学における実務実習事前学習 (以下、事前学習)

〔科目名〕

- 実務実習事前学習Ⅰ (前期科目)
- 実務実習事前学習Ⅱ (後期科目)

4月～11月にかけて、90分×122コマ相当を
2科目に分けて実施。
実習・演習時間は、実施日1日あたり約3時間半。

3

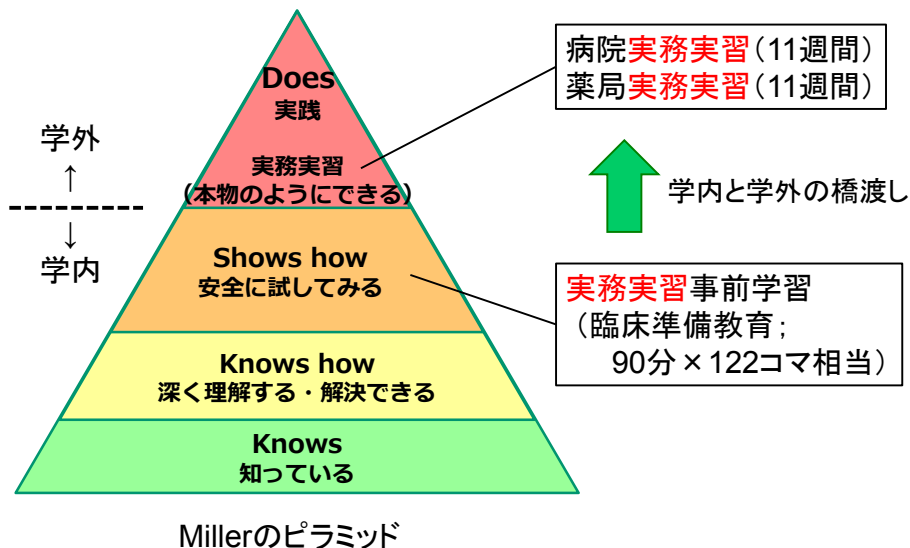
事前学習の年間スケジュール

2024年度 実務実習事前学習Ⅰ・Ⅱ スケジュール

年次	学期	科目名	実施日	時間	担当
4年次	前期	実務実習事前学習Ⅰ	4月10日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅰ	4月17日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅰ	4月24日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅰ	5月1日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅰ	5月8日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅰ	5月15日	9:00-10:30	大柳賀津夫
	後期	実務実習事前学習Ⅱ	9月10日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅱ	9月17日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅱ	9月24日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅱ	10月1日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅱ	10月8日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅱ	10月15日	9:00-10:30	大柳賀津夫
5年次	前期	実務実習事前学習Ⅰ	4月10日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅰ	4月17日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅰ	4月24日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅰ	5月1日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅰ	5月8日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅰ	5月15日	9:00-10:30	大柳賀津夫
	後期	実務実習事前学習Ⅱ	9月10日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅱ	9月17日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅱ	9月24日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅱ	10月1日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅱ	10月8日	9:00-10:30	大柳賀津夫
		実務実習事前学習Ⅱ	10月15日	9:00-10:30	大柳賀津夫

4

事前学習から実務実習へ



5

実務実習システムの画面 (学生プロフィール欄への入力項目)

実務実習システム画面 (学生プロフィール欄への入力項目)

自己紹介 — 自己紹介

4年次までの学習 (好きな分野) — 4年次までの学習

4年次までの学習 (所属研究) — 4年次までの学習

4年次までの学習 (総合薬学研究) — 4年次までの学習

将来の希望 — 将来の希望

目指す薬剤師像 — 目指す薬剤師像

6

事前学習から実務実習へ

実務実習システムの学生プロフィール欄へ入力する項目と **同じ項目** を事前学習の時に記入させ、実務実習につなげています。

すなわち、

- ◆ 自己紹介
- ◆ 将来の希望
- ◆ 目指す薬剤師像

事前学習Ⅱ終了時に
書いた赤字項目の内容を
実習システムへ入力
します

→ 事前学習Ⅰ開始時、および事前学習Ⅱ終了時 に記入

8

実務実習システム画面 (学生プロフィール欄への入力項目)

実習に対する気持ち — 実習に対する気持ち

実習における個人目標 — 実習における個人目標

個人目標達成度 — 個人目標達成度

個人目標達成度 (4割目標了時)

個人目標達成度 (8割目標了時)

個人目標達成度 (実習終了時)

実務実習の自己評価 — 実務実習の自己評価

※実習終了時に記入。薬局実習で成長したこと・今後の目標

7

事前学習から実務実習へ

- ◆事前学習(※実務実習)に対する気持ち
◆事前学習(※実務実習)における個人目標

→ 事前学習Ⅰ開始時、および事前学習Ⅰ終了時、
事前学習Ⅱ終了時(※) に記入

事前学習Ⅱ終了時(※)に
書いた赤字項目の内容を
実習システムへ入力
します

- ◆個人目標達成度
◆事前学習Ⅰ・Ⅱの自己評価

→ 事前学習Ⅰ終了時、および事前学習Ⅱの途中、
事前学習Ⅱ終了時 に記入

(記入例)

自己紹介

将来の希望

[illegible]

(記入例)

実習における個人目標

[illegible]

事前学習における 概略評価 とリフレクションシート

● 事前学習 I・II 共通の概略評価表

(確認方法: 実務実習システム → 「実務実習実施計画書」
→ 「ファイル添付」 → 「2024年度概略評価表」)

実務実習事前学習Ⅰ・Ⅱの概略評価表(パフォーマンス評価表)

観点	アウツカム	第4段階	第3段階	第2段階	第1段階	No.	SBOs
1-1) 法令・規 則等の理 解と遵守	法令・規 則等を理 解した上 で模範 処方せん を用いて、 調剤を適 正に実施 する。	模範処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を適切に行うことができる。	模範処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を行うことができる。	調剤で扱う処方せん、調剤料、経費照会等を法令・規則の観点から具体的に説明できる。	調剤で遵守すべき基本的な法令・規則が説明できる。	SBOs010	前) 調剤業務に関わる事項（処方せん、調剤料、経費照会等）の意義や取り扱いを法的根拠に基づいて説明できる。
1-2) 処方せん と経費照 会	模範処方せんを用いて適正に処方箋と経費照会を実施する。	調剤（生薬配合）用（3:1）処方せんの中で、模範患者への問診も含めては患者記録の内容から必要に応じて適切な経費照会が模範処方箋に対して適切に実施できる。	模範処方せんを監査し、模範処方箋に対して経費照会が適切に実施できる。	模範処方せんを例にして、処方せんの様式と記載事項、記載効果、処方量の効果・用量に関する不備が指摘できる。	処方監査および経費照会に関する法令・規則、手順、留意事項等が説明できる。	SBOs014 SBOs015 SBOs016	前) 代表的な疾患に使用される医薬品について効果・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用を差でできる。 前) 処方オーダーリングシステムおよび電子カルテについて概説できる。 前) 処方せんの様式と必要記載事項、記載方法について説明できる。
						SBOs017	前) 処方せんの監査の意義、その必要性と注意点に

質の変化 質の変化 質の変化

SBOs等に基づいて、観点毎に
本学教員で定めたアウトカム、
概略評価表(パフォーマンス評価表
(ループリック))

薬学教育モデル・コアカリキュラム
(平成25年度改訂版)のSBOs

・リフレクションシート → 実習項目毎に学生が評価、記入する
(表面)

リフレクションシート
実習項目: 錠剤、一包化・分割・粉砕
学号番号: _____ 実習日: 月 日
氏名: _____

1-(1) 法令・規則等の理解と遵守 1-(2) 錠剤、一包化・分割・粉砕

観点	アウカム	第4段階	第3段階	第2段階	第1段階
法令・規則等を理解した上で、模範処方せんを用いて適切な調剤が適正に実施できる。	1-(1)	模範処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を行うことができる。	模範処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を行うことができる。	模範処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を行うことができる。	模範処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を行うことができる。
模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。	1-(2)	模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。	模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。	模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。	模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。
模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。		模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。	模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。	模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。	模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。

具体的な項目について、「できる」項目が多数ある場合(多数段階に○をつける)
ただし、1段階を踏まえて2段階、2段階を踏まえて3段階と学習の進捗が上っていることを把握して記入する。
下の段階が○より上と判断する場合(上上の段階に○をつける)に○

自己評価: ○
評価: ○

ピア評価者が具体的な項目について評価した結果(多数段階に○)【評価者: _____】

第1段階: 不可
第2段階: 最低到達ライン
第3段階: 到達ライン
第4段階: 実務実習レベル

概略評価(パフォーマンス評価表)

具体的項目:
概略評価は複数の実施項目を含んでいる(またがっている)ため、当該実施項目では **具体的に何ができるようになればよいかを学生に明示したもの(次スライド参照)**

自己評価、ピア評価

観点	アウカム	第4段階	第3段階	第2段階	第1段階
模範処方せんに基づく調剤を実施する。	模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。	模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。	模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。	模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。	模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。
模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。	模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。	模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。	模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。	模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。	模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。

例

第4段階: 散剤調剤で賦形の適否が判断でき、適切に賦形できる。
第3段階: 散剤調剤(一包化、粉砕を含む)で秤量から混和、分包までを淀みなくスムーズに実施できる。
第2段階: 散剤調剤で賦形ができる。
第1段階: 法令に基づいた薬袋が作成できる。

(裏面)

＜本日の事前学習(実習・演習)の振り返り＞
(達成度、何を、何を理解できたのか、どのようなことができたのか等、記載する)

＜達成できなかった点(次回への反省・改善点)＞
(まだ何を理解できていないのか等を考察し、次回までのようなことを意識して取り組むのか等を記入する)

＜教員からのフィードバック＞
(実習・演習・フィードバックシートにおいて、個人・全体・全体向けを問わず、教員から受けたフィードバックの内容を記載する)

具体的な実施内容:
何を、何を理解できるようになったのか、どのようなことができたのか等を記入する

達成できなかった点(次回への反省・改善点):
まだ何を理解しておらず、どのようなことができていないのか等を考察し、次回までのようなことを意識して取り組むのか等を記入する

教員からのフィードバック:
教員からの形成的評価の結果、助言や注意等を記入する

(記入例)

リフレクションシート
実習項目: 錠剤、一包化・分割・粉砕
学号番号: _____ 実習日: 月 日
氏名: _____

1-(1) 法令・規則等の理解と遵守 1-(2) 錠剤、一包化・分割・粉砕

観点	アウカム	第4段階	第3段階	第2段階	第1段階
法令・規則等を理解した上で、模範処方せんを用いて適切な調剤が適正に実施できる。	1-(1)	模範処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を行うことができる。	模範処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を行うことができる。	模範処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を行うことができる。	模範処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を行うことができる。
模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。	1-(2)	模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。	模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。	模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。	模範処方せんに基づき、適切な調剤が適正に実施できる。
模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。		模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。	模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。	模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。	模範処方せんを用いて適正な医薬品調剤を実施する。

具体的な項目について、「できる」項目が多数ある場合(多数段階に○をつける)
ただし、1段階を踏まえて2段階、2段階を踏まえて3段階と学習の進捗が上っていることを把握して記入する。
下の段階が○より上と判断する場合(上上の段階に○をつける)に○

自己評価: ○
評価: ○

ピア評価者が具体的な項目について評価した結果(多数段階に○)【評価者: _____】

(記入例)

＜今日の事前学習(実習・演習)の振り返り＞

①具体的な振り返り内容
(達成度、何を学んだ、何が理解できたようになったのか、どのようなことができたのか等、記載する)
薬の作用機序について、薬を飲むことで、血中の薬の濃度が上がり、それが受容体に結合して、細胞内を伝導して、最終的に効果や副作用を生じる。この過程を理解することができた。また、薬の作用機序は、薬の種類によって異なることを学んだ。例えば、抗がん剤は、細胞の増殖を抑制することで、がん細胞の増殖を抑える。一方、抗がん剤は、正常細胞にもダメージを与える可能性がある。そのため、抗がん剤の投与は、がん細胞と正常細胞の差を最大限に活かすことが重要である。また、抗がん剤の副作用は、正常細胞にもダメージを与える可能性がある。そのため、抗がん剤の投与は、がん細胞と正常細胞の差を最大限に活かすことが重要である。

②事前学習(実習・演習)にて達成できなかった点(次回への反省・注意点)
(まだ何を理解しておらず、どのようなことができていないのか等を挙げる。次回はどういうことを意識して事前学習に取り組むのか、次回までにどのような準備をしておくかなど、具体的な目標や注意点を記載する)
薬の作用機序について、薬を飲むことで、血中の薬の濃度が上がり、それが受容体に結合して、細胞内を伝導して、最終的に効果や副作用を生じる。この過程を理解することができた。また、薬の作用機序は、薬の種類によって異なることを学んだ。例えば、抗がん剤は、細胞の増殖を抑制することで、がん細胞の増殖を抑える。一方、抗がん剤は、正常細胞にもダメージを与える可能性がある。そのため、抗がん剤の投与は、がん細胞と正常細胞の差を最大限に活かすことが重要である。また、抗がん剤の副作用は、正常細胞にもダメージを与える可能性がある。そのため、抗がん剤の投与は、がん細胞と正常細胞の差を最大限に活かすことが重要である。

＜教員からのフィードバック＞
(実習・演習・フィードバック1～3回において、個人向け・全体向けを問わず、教員から受けたフィードバック内容を記載する)
薬の作用機序について、薬を飲むことで、血中の薬の濃度が上がり、それが受容体に結合して、細胞内を伝導して、最終的に効果や副作用を生じる。この過程を理解することができた。また、薬の作用機序は、薬の種類によって異なることを学んだ。例えば、抗がん剤は、細胞の増殖を抑制することで、がん細胞の増殖を抑える。一方、抗がん剤は、正常細胞にもダメージを与える可能性がある。そのため、抗がん剤の投与は、がん細胞と正常細胞の差を最大限に活かすことが重要である。また、抗がん剤の副作用は、正常細胞にもダメージを与える可能性がある。そのため、抗がん剤の投与は、がん細胞と正常細胞の差を最大限に活かすことが重要である。

17

事前学習における学生へのフィードバック(全体と個別)

フィードバックⅠ(事前学習Ⅰ開始約1ヵ月後)

- ★全体フィードバック(各実習項目を担当した教員から学生全員に対して)
- ★担当教員による個別フィードバック(1年間担当する7～8人の学生に対して)
 - ・目指す薬剤師像や個人目標が記入されているか
 - ・リフレクションシートが適切に記入されているか、ポートフォリオのチェック
 - ・今後に向けた助言・注意 等

フィードバックⅡ、Ⅲ(Ⅱ:事前学習Ⅰ終了時、Ⅲ:事前学習Ⅱ途中)

- ★全体フィードバック(同上)
- ★担当教員による個別フィードバック(同上)
 - ・個人目標の達成度、次の個人目標等について
 - ・リフレクションシートが適切に記載されているか、ポートフォリオのチェック
 - ・今後に向けた助言・注意 等

最終フィードバック(事前学習Ⅱ終了後のポートフォリオ返却時)

- ★担当教員による個別フィードバック(同上)
 - ・目指す薬剤師像、実習に対する気持ちや個人目標等について助言・添削
 - ・実務実習に向けた助言・注意 等

18

事前学習の年間スケジュール(詳細)

2024年度 実務実習事前学習Ⅰ・Ⅱ スケジュール

青学:5年生が参加する項目

			前半クラス		後半クラス
月	日	曜日	Aクラス	Bクラス	Cクラス
4月	8	月		ガイダンス [102PN/★CR★]大柳	
	11	木		疾患のSGD①【演習】 [301A(集合場所)、301A前、302A、303A/★CR★]高野・岡本	
	12	金		疾患のSGD②【演習】 [201A/★CR★]高野・岡本	
	15	月		SGDの発表 [201A/★CR★]高野・岡本	
	18	木		疾患のSGD③【演習】/副作用被害【演習】 [301A(集合場所)、301A前、302A、303A/★CR★]高野・岡本	
	19	金	医薬品情報【演習】 [102PN]興村・杉山		薬局・薬局者応対【実習】【動-7】【動-8】 [106L]大柳・高野
	22	月	薬局・薬局者応対【実習】【動-7】【動-8】 [106L]大柳・高野		医薬品情報【演習】 [102PN]興村・杉山
	25	木	無菌操作(準備)【実習】 【動-6(注射剤混合・付録映像以外)】 [107L]石川・杉山・岡田	地域医療 【演習】 [106L]小林・大柳	
	26	金	無菌操作(注射剤混合)【実習】 【動-6(注射剤混合・付録映像)】 [DI室(集合場所)、医薬品試験室、無菌室] 岡田・大木・興村	セルフメディケーション【演習】 [106L]坂野・大柳	病棟・初回面談【実習】【動-9】 [103L]石川・杉山・岡本
	29	月			
	30	火	フィードバックⅠ [106L/出欠&名札着用のみチェック]大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・興村・杉山・高野・佐藤		

19

事前学習の年間スケジュール(詳細)

5月	2	木	補習		
	3	金			
	6	月			
	9	木		無菌操作(準備)【実習】 【動-6(注射剤混合・付録映像以外)】 [107L]石川・杉山・岡田	地域医療 【演習】 [106L]小林・大柳
	10	金	病棟・初回面談【実習】【動-9】 [103L]石川・杉山・岡本	無菌操作(注射剤混合)【実習】 【動-6(注射剤混合・付録映像)】 [DI室(集合場所)、医薬品試験室、無菌室] 岡田・大木・興村	セルフメディケーション【演習】 [106L]坂野・大柳
	13	月	地域医療 【演習】 [106L]小林・大柳		無菌操作(準備)【実習】 【動-6(注射剤混合・付録映像以外)】 [107L]石川・杉山・岡田
	15	水	実力試験		
	16	木	セルフメディケーション【演習】 [106L]坂野・大柳	病棟・初回面談【実習】【動-9】 [103L]石川・杉山・岡本	無菌操作(注射剤混合)【実習】 【動-6(注射剤混合・付録映像)】 [DI室(集合場所)、医薬品試験室、無菌室] 岡田・大木・興村
	17	金	TDM【講義】 [201A/★CR★]多賀・高野		
	20	月	TDM【実習】 [303PN/★CR★]高野		
	23	木	TDM【実習】 [303PN/★CR★]高野		
6月	24	金	持参薬チェック【実習】【動-5(持参薬チェック)】 [PTR(集合場所)、医薬品試験室]岡田・岡本	疑義照会【実習】【動-14】 [105L]大木・小林	
	27	月	疑義照会【実習】【動-14】 [105L]大木・小林		持参薬チェック【実習】【動-5(持参薬チェック)】 [PTR(集合場所)、医薬品試験室]岡田・岡本
	30	木	輪講【演習(SGDを含む)】 [301A(集合場所)、301A前/★CR★]宮東・岡田		
	31	金	補習		

20

事前学習の年間スケジュール（詳細）

6月	3	月	簡易懸濁【実習】 [PTR] 毎田・興村・岡本	中心静脈栄養の調製【実習】 [医薬品情報室(集合場所)、無菌室、医薬品試験室] 岡田・大本	
	6	木	水剤【実習】【動-3】 [107L 右奥] 大柳・野村・佐藤	簡易懸濁【実習】 [PTR] 毎田・興村・岡本	中心静脈栄養の調製【実習】 [医薬品情報室(集合場所)、無菌室、医薬品試験室] 岡田・大本
	7	金	中心静脈栄養の調製【実習】 [医薬品情報室(集合場所)、無菌室、医薬品試験室] 岡田・大本	簡易懸濁【実習】 [PTR] 毎田・興村・岡本	
	10	月	計数【実習】【動-1】 [PTR] 興村・杉山	水剤【実習】【動-3】 [107L 右奥] 大柳・野村・佐藤	軟膏【実習】【動-4】 [105L] 高野・大本
	13	木	軟膏【実習】【動-4】 [105L] 高野・大本	計数【実習】【動-1】 [PTR] 興村・杉山	水剤【実習】【動-3】 [107L 右奥] 大柳・野村・佐藤
	14	金	散剤、一包化・分割・粉碎【実習】【動-2】 [107L 右手前] 大柳・岡本	軟膏【実習】【動-4】 [105L] 高野・大本	計数【実習】【動-1】 [PTR] 興村・杉山
	17	月			
	20	木		散剤、一包化・分割・粉碎【実習】【動-2】 [107L 右手前] 大柳・岡本	セルフデバイス【実習】 [PTR] 杉山・野村
	21	金			
	24	月	調剤薬監査【実習】【動-5(調剤薬監査)】 [105L] 大本・岡田	セルフデバイス【実習】 [PTR] 杉山・野村	散剤、一包化・分割・粉碎【実習】【動-2】 [107L 右手前] 大柳・岡本
7月	27	木	院内製剤【実習】 [107L 左] 高野・興村・佐藤	調剤薬監査【実習】【動-5(調剤薬監査)】 [105L] 大本・岡田	
	28	金		院内製剤【実習】 [107L 左] 高野・興村・佐藤	調剤薬監査【実習】 [105L] 大本・岡田
	1	月	セルフデバイス【実習】 [PTR] 杉山・野村		調剤薬監査【実習】 [105L] 大本・岡田
	4	木		補習	
	5	金		補習	
	8	月	フィードバックⅡ [301A(集合場所)、302A、303A/★CR★] 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・杉山・高野・佐藤		
	11	木			
	12	金			

21

事前学習の年間スケジュール（詳細）

8月	28	水	薬学・薬剤師を取り巻く諸問題【演習】 [301A(集合場所)、302A、303A/★CR★] 高野・石川	薬局薬剤交付【実習】【動-12】【動-13】 [106L] 大柳・岡本
	30	金	薬局薬剤交付【実習】【動-12】【動-13】 [106L] 大柳・岡本	薬学・薬剤師を取り巻く諸問題【演習】 [301A(集合場所)、302A、303A/★CR★] 高野・石川
9月	3	火	医薬品の供給・管理【演習(SGDを含む)】 [301A(集合場所)、302A、303A、201A/★CR★] 岡本・興村・佐藤	
	4	水	安全管理【演習(SGDを含む)】 [301A(集合場所)、302A、303A、201A/★CR★] 岡本・杉山・佐藤	
	6	金	在宅での薬学管理【実習】【動-10】 [105L] 石川・興村・大本	在宅での薬学管理【実習】【動-10】 [105L] 石川・興村・大本
	10	火	SOAP【演習】 [201P/★CR★] 大柳	在宅での薬学管理【実習】 [105L] 石川・興村・大本
	11	水		在宅での薬学管理【実習】 [105L] 石川・興村・大本
	13	金	病棟服薬指導【実習】【動-11】 [105L] 石川・杉山・大本	病棟服薬指導【実習】 [PTR、無菌室] 高野・野村・佐藤・岡本
	17	火	SOAP【演習】 [201P/★CR★] 大柳	SOAP【演習】 [201P/★CR★] 大柳
	18	水	抗悪性腫瘍薬の調製【実習】 [PTR、無菌室] 高野・野村・佐藤・岡本	病棟服薬指導【実習】 [105L] 石川・杉山・大本
	20	金	体調変化の確認【実習】 [105L] 杉山・大本	多職種連携【実習】 [104L] 岡田・野村
	24	火	実力試験	
	25	水	配合変化【実習】 [106L] 高野・大柳	多職種連携【実習】 [104L] 岡田・野村
	27	金	多職種連携【実習】 [104L] 岡田・野村	体調変化の確認【実習】 [105L] 杉山・大本

22

総合実習Ⅰ・Ⅱ

総合実習Ⅰで用いる症例は本学の演習科目「臨床薬学Ⅲ」のために、指導薬剤師の先生に作成いただいたものをベースとし、本学教員がアレンジしたもの

●総合実習Ⅰ

薬局／病院にける複数の場面において、定められた時間内に求められるパフォーマンスを連続で発揮できたか、教員から個別評価およびフィードバックを受ける。

- ・薬局での場面：処方箋受付・患者応対 → 疑義照会 → 計数調剤 → 調剤薬監査 → 薬剤交付 → 薬歴記載
- ・病院での場面：病棟での初回面談 → 持参薬チェック → 医療従事者への情報提供 → 病棟での服薬指導 → 薬歴記載

●総合実習Ⅱ

各実習項目で身につけたパフォーマンスの一つ一つについて、その精度を高め、より確かなものとするためのもの。用意された課題について、定められた基準以上に到達したか、教員から個別評価およびフィードバックを受ける。
(偏りのない領域別9課題のうち、6課題以上で合格)

23

総合実習Ⅱにおいて教員から個別評価を受けたもの(例)

(例)
9課題全てについて、教員から到達済みの印またはサインをもらった学生

(1回目で到達できず、練習して2回目で到達した)

(1回目で到達しているが、期間が空いてしまったため、再度、個別評価を受けた)

総合実習Ⅱ パフォーマンス確認表

評価項目	薬剤		軟膏		散剤	
	確認日	到達済	確認日	到達済	確認日	到達済
処方箋受付	11/6	到達済	11/1	到達済	11/20	到達済
患者応対	11/6	到達済	11/1	到達済	11/20	到達済
疑義照会	11/6	到達済	11/1	到達済	11/20	到達済
計数調剤	11/6	到達済	11/1	到達済	11/20	到達済
調剤薬監査	11/6	到達済	11/1	到達済	11/20	到達済
薬剤交付	11/6	到達済	11/1	到達済	11/20	到達済
薬歴記載	11/6	到達済	11/1	到達済	11/20	到達済
病棟での初回面談	11/6	到達済	11/1	到達済	11/20	到達済
持参薬チェック	11/6	到達済	11/1	到達済	11/20	到達済
医療従事者への情報提供	11/6	到達済	11/1	到達済	11/20	到達済
病棟での服薬指導	11/6	到達済	11/1	到達済	11/20	到達済
薬歴記載	11/6	到達済	11/1	到達済	11/20	到達済

24

年間のスケジュール（詳細）

10月	1	火	金沢医科大学人体解剖学習		
	2	水	補習		
	4	金	総合実習Ⅰ（薬局・病院編）〔演習(SGDを含む)〕 〔301A(集合場所)、302A、303A/★CR★〕 大柳・岡田		
	8	火	総合実習Ⅰ（病院編）〔パフォーマンス評価〕 〔105L〕大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・杉山・高野・佐藤・波氏・多賀・坂野・小林	総合実習Ⅰ（病院編）〔パフォーマンス評価〕 〔105L〕大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・杉山・高野・佐藤・波氏・多賀・坂野・小林 総合実習Ⅰ（薬局編）〔パフォーマンス評価〕 〔105L〕大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・杉山・高野・佐藤・波氏・多賀・坂野・小林	
	9	水			
	11	金			
	15	火	総合実習Ⅰ（薬局編）〔パフォーマンス評価〕 〔105L〕大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・杉山・高野・佐藤・波氏・多賀・坂野・小林		
	16	水	フィードバックⅢ 〔301A(集合場所)、302A、303A/★CR★〕大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・杉山・高野・佐藤		
	18	金	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・杉山・佐藤・毎田		
	22	火	総合実習Ⅱ-課題①〔パフォーマンス評価〕 〔PTR、医薬品試験室、無菌室、107L、105L〕 （課題以外の時間は自由練習）	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・杉山・佐藤・毎田	
	23	水	大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・杉山・佐藤・毎田		
	25	金	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・杉山・佐藤・毎田		
29	火				
30	水	実力試験			

年間のスケジュール（詳細）

11月	1	金	総合実習Ⅱ-課題②〔パフォーマンス評価〕 〔PTR、医薬品試験室、無菌室、107L〕 〔課題以外の時間は自由練習〕 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・佐藤・毎田	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・佐藤・毎田
	5	火	日曜授業	
	6	水	総合実習Ⅱ-課題②〔パフォーマンス評価〕 〔PTR、医薬品試験室、無菌室、107L〕 〔課題以外の時間は自由練習〕 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・佐藤・毎田	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・佐藤・毎田
	8	金	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・佐藤・毎田	総合実習Ⅱ-課題②〔パフォーマンス評価〕 〔PTR、医薬品試験室、無菌室、107L〕 〔課題以外の時間は自由練習〕 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・佐藤・毎田
	12	火		
	13	水	総合実習Ⅱ-課題③〔パフォーマンス評価〕 〔PTR、医薬品試験室、無菌室、107L〕 〔課題以外の時間は自由練習〕 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・佐藤・毎田	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・佐藤・毎田
	15	金		
	19	火	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・佐藤・毎田	総合実習Ⅱ-課題③〔パフォーマンス評価〕 〔PTR、医薬品試験室、無菌室、107L〕 〔課題以外の時間は自由練習〕 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・佐藤・毎田
	20	水		
	22	金	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・高野・佐藤・毎田	

ポートフォリオ（実務実習に持参するよう学生へ指示しています）



スケジュール



個人目標等



リフレクション
シート



各実習で
用いた資料



各自の判断で
追加した資料

など



ポートフォリオのファイルは学生が個々に準備

事前学習に関する
全ての資料が
綴じられています

成績評価

● 実務実習事前学習Ⅰ（前期科目）

- ・ポートフォリオ 50%
- ・スモールグループ ディスカッション 40%
- ・身嗜み 10%

● 実務実習事前学習Ⅱ（後期科目）

- ・総合実習のパフォーマンス評価 40%
- ・ポートフォリオ 30%
- ・スモールグループ ディスカッション 20%
- ・身嗜み 10%

教科書

「治療薬マニュアル」、「第十四改訂 調剤指針 増補版」
を教科書に指定しています。



29

事前学習を終えた5年生が 下級年次の事前学習に参加しています

実務実習の開始時期が第Ⅱ期以降の場合、5年生は共用試験（OSCE、CBT）に合格してから実務実習開始までの間に**能力（パフォーマンス）の低下が懸念**されます。

そのため、**能力が維持されているかを確認**するため、下級年次の事前学習に参加して4年生に教育できるか（**教育できる＝パフォーマンスは維持されている**）を教員がチェックしています。

上級生が下級生を教育する方式は**屋根瓦方式**とも呼ばれ、上級生の**教育能力の醸成**に寄与します。また下級生にとっては、**いずれ自分がどう成長していくのかが明確**になるなど、上級生、下級生の双方にメリットがあります。

- ・ 第Ⅱ期から実務実習を開始する学生 … 4月に事前学習に参加
- ・ 第Ⅲ期から実務実習を開始する学生 … 4～6月に事前学習に参加
- ・ 第Ⅰ・Ⅱ期に実務実習を終えた学生 … 9月に事前学習に参加

30

パフォーマンス評価について

パフォーマンス評価を行う際の考え方

『 **何ができるようになったのかを評価**する 』

実習が進むにつれ、実習生はできるようになったことが増えていく（能力が向上していく）ので、

→ できるようになったことと、概略評価の言葉とのつなぎ合わせを行ってください。

評価結果は「平均値」ではなく「**中央値**」で！

（併せて、まだできないことについては、実習において具体的に何ができるようになるれば“**できた**”と判断されるのかを学生に説明してください）

31

32

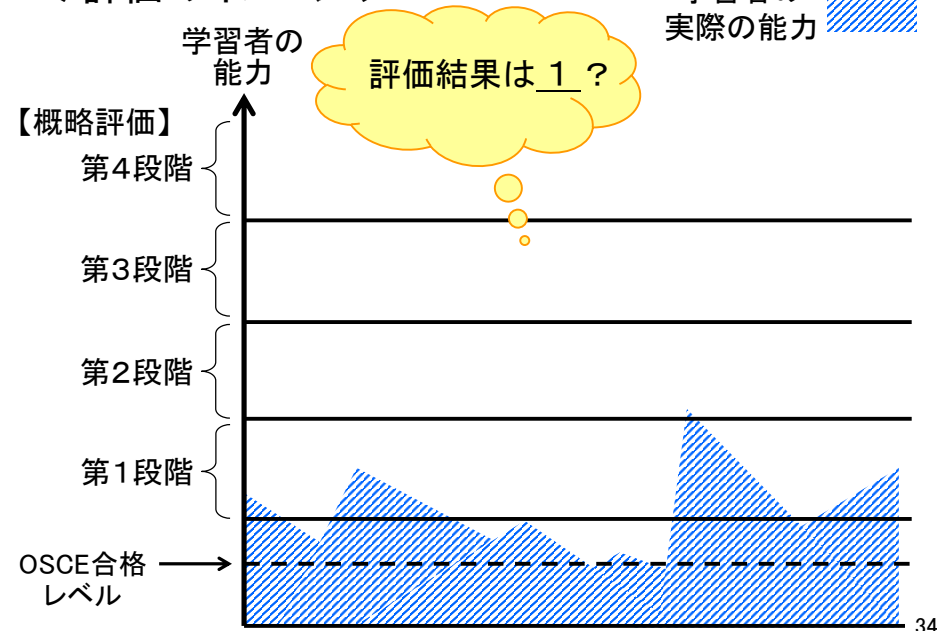
実務実習における概略評価表（ルーブリック） の段階について

評価の段階は4段階

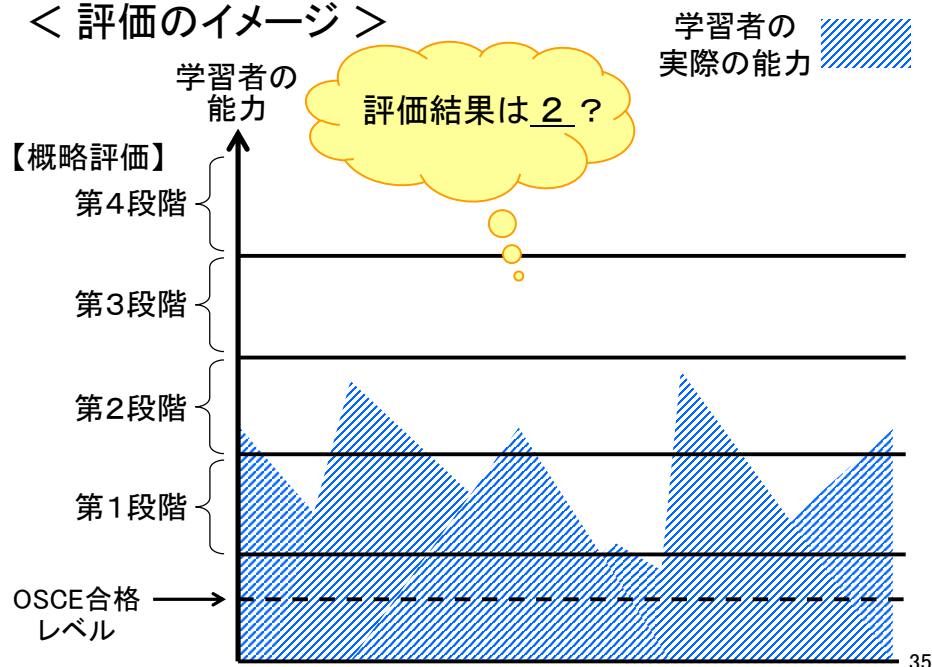
- ・ 第1段階：大学での学習を確認し、医療現場で指導薬剤師の指導の下、実際に患者・来局者に**対応ができる**段階（実習開始から2～4週間程度かけて到達するライン）
- ・ 第3段階：第2段階を経て、薬剤師として医療現場で働くことができる**基礎を身に付けた**段階（実習中に到達すべき基本目標の段階）
- ・ 第4段階：薬剤師の目指すべき使命を**実現できる**段階

薬学実務実習に関する連絡会議「薬学実務実習の評価の観点について（例示）」より 33

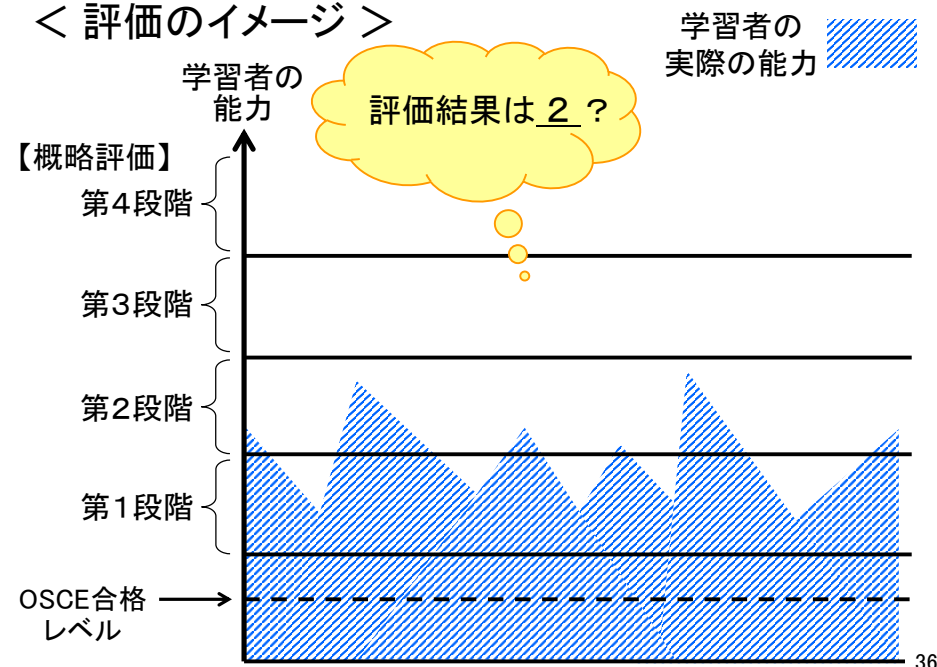
< 評価のイメージ >



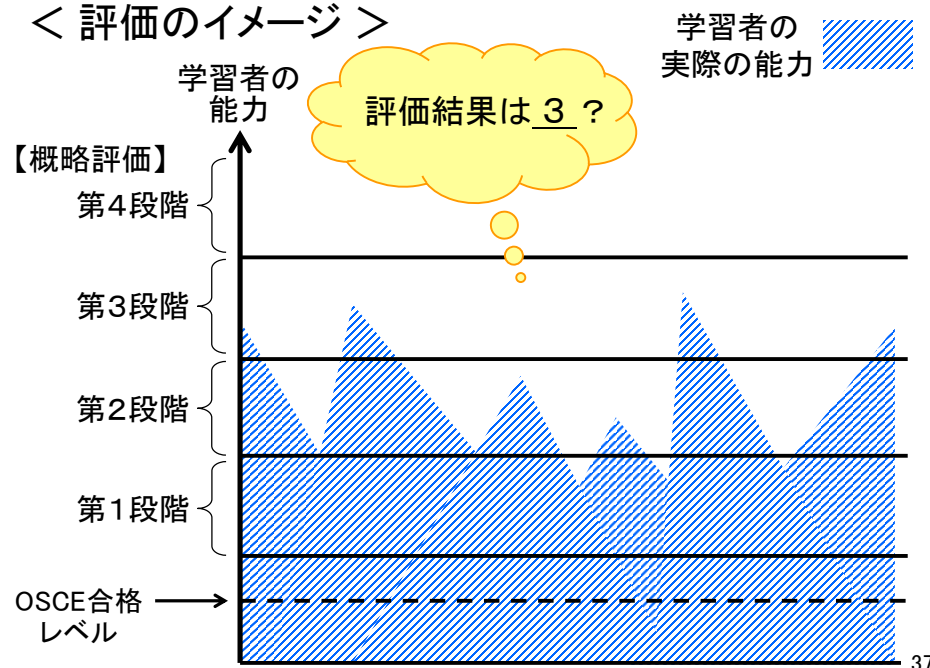
< 評価のイメージ >



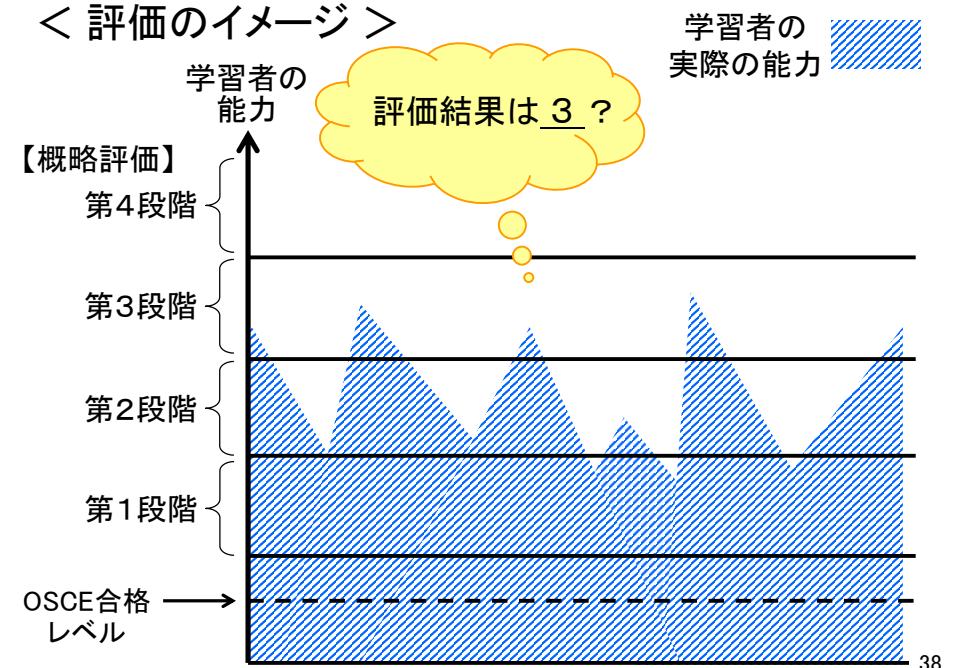
< 評価のイメージ >



< 評価のイメージ >



< 評価のイメージ >



評価に関するお願い

- 適切なタイミングで、かつ、繰り返しの
形成的評価をお願いします
- 実習時間が十分に確保できなくても、
複数回の評価をお願いします
- 実習できなかったので評価できなかった、
ということがないようにお願いします

評価に迷ったら・・・

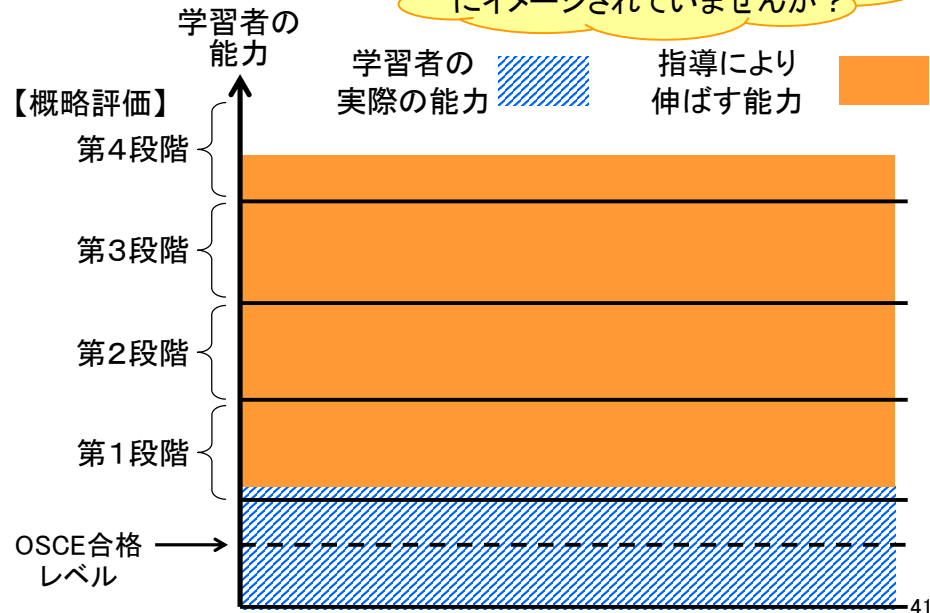
段階の境目(例: 第1段階か? 第2段階か?)で迷ったら、「エイッ」と決めてしまって構いません。

評価した段階(結果)も大切ですが、迷って第2段階とされたのであれば、**どのようなことで迷ったのか、それがどのようなであったなら迷わなかったか**を実習生に伝えてください。

伝えられる内容は、**実習生にとってまだ不十分なところ**ですので、実習生は伝えられたことを踏まえて、以後の実習に臨むことができるようになります。

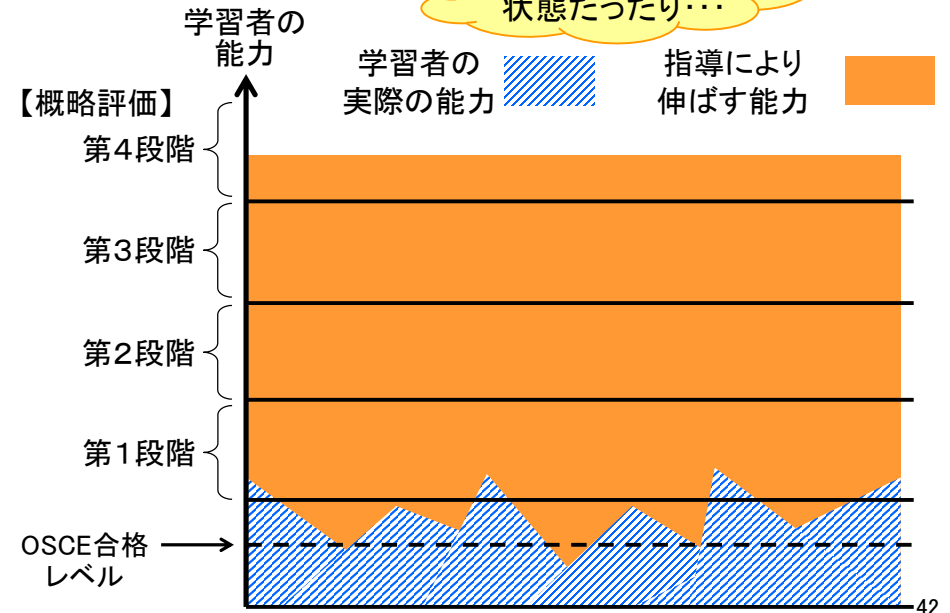
< 指導のイメージ >

実習開始にあたり、このようにイメージされていませんか？



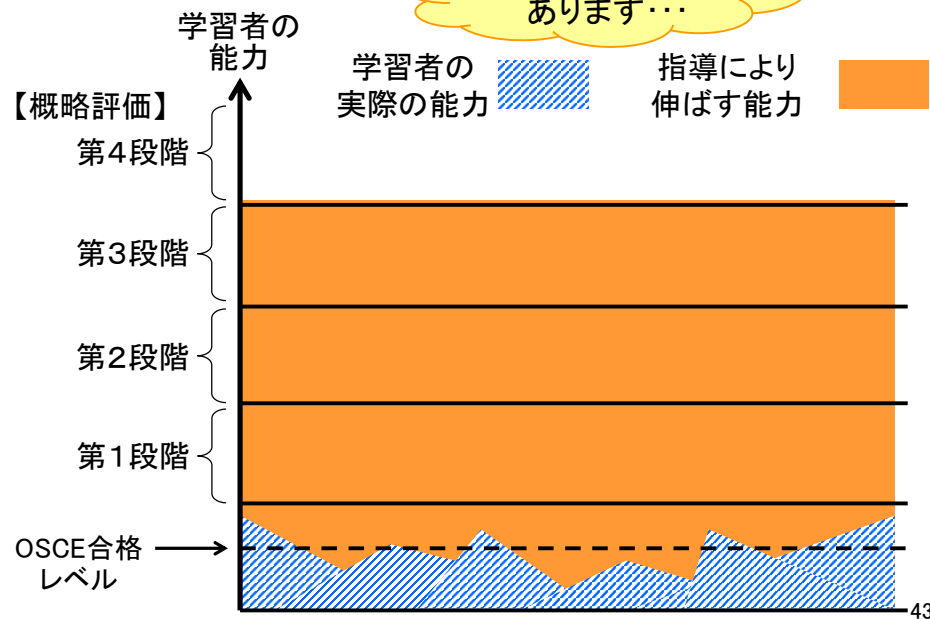
< 指導のイメージ >

実際はこのような状態だったり…



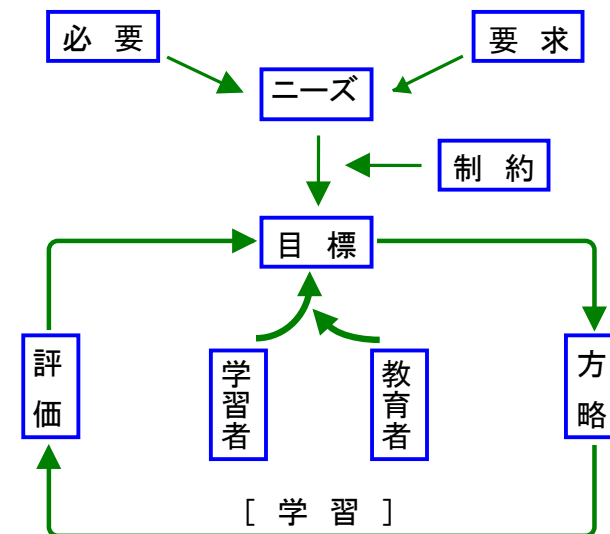
< 指導のイメージ >

このような状態もあります…



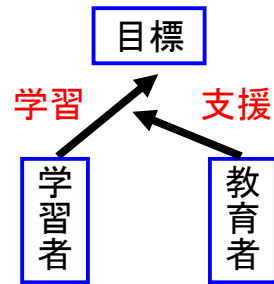
学習のプロセス

認定実務実習指導薬剤師
養成のためのワークショップ
(薬学教育者ワークショップ)
目標のスライド



学習者と指導者の関係

学習者が学習の主体者で
教員・指導者はその助力者



（認定実務実習指導薬剤師
養成のためのワークショップ
（薬学教育者ワークショップ）
オリエンテーションのスライド）

「何を教えたか」ではなく
「学習者が、学習の成果として、何できるようになったか」

45

学習者個々の実際の能力（の部分）や、成長の
スピードも学習者によって異なりますので、それらに
合わせてご指導をお願いいたします。
すなわち、**学習者に合わせてご指導いただく** の
部分は異なるということになります。

この考え方は、患者個々の実際の病識・薬識、理解の
スピード等に合わせて患者を指導（教育）していくことと
本質は同じです。

46

車の運転免許取得に例えれば…

- 大学内での教育（調剤学、**事前学習**等）
教習所内での学科・技能教習
- 共用試験（OSCE、CBT）
仮免許試験
- 薬局・病院での**実務実習**
路上教習（指導薬剤師が助手席にいる）
- 薬剤師国家試験
運転免許センターでの試験

47

ご清聴ありがとうございました

48